

# 2016年度の事業計画

## ◆はじめに

引き続き、市民、団体、有識者、企業、行政、学校等多様な主体が幅広く連携し、環境保全活動を協働して展開する基盤としてネットワーク化をすすめ、持続可能で豊かな社会の構築に向け、様々な場における行動と参画・協働を推進します。

また、事務局体制に見合う事業の見直しや整理をすすめます。

## 1. ネットワーク・広報・研究・助成事業

### ①助成事業

- ・県内の環境団体の育成と環境問題の研究に対して財政的な支援を図ります。
- ・「助成活動報告会」は、前年度助成団体による活動報告と、意見交流を行います。

### ②.ホタル団体交流会・ホタルフォーラム

- ・ホタルに関する取り組みを実施している団体や個人の参加のもと交流をすすめ、自然環境保全活動の前進を図ります。
- ・ホタル団体交流会を年3回開催します。
- ・ホタルフォーラムを美咲町にて、地元団体等の協力のもと開催します。

### ③. ニュース、ホームページ、メールニュースの発行

- ・各媒体の特徴を活かし、多様な情報発信、情報共有、各主体の交流の促進と、事業への参加や協力を促します。
- ・ニュースは季刊発行とし、様々な情報提供、活動紹介をすすめます。
- ・メールニュースは月2回を基本に発行し、タイムリーな情報発信をすすめます。
- ・「事業紹介パンフレット」や「事業・決算報告並びに事業計画・予算書」を作成し、広く活動の理解につなげ、それらを活用した会員獲得をすすめます。

### ④. 環境家計簿活動の普及

- ・環境家計簿の普及を通じ、家庭部門のCO<sub>2</sub>排出削減をすすめ、環境に配慮した暮らしをめざす活動をすすめます。
- ・引き続き、岡山市と協働で「環境家計簿レポート」、「環境家計簿カレンダー」を発行し啓発につなげます。

### ⑤. 自然環境の研究・交流

- ・「旭川流域部会」にて、旭川流域の研究・交流、体験プログラムの企画等をすすめます。

- ・「里海づくり推進部会」にて、県内の活動の推進、学習・交流企画等の具体化を図ります。

また、「全国アマモサミット」成功に向け、役割を發揮します。

- ⑥. TPPをテーマに、市民への理解をすすめる目的でシンポジウムを開催します。

### ⑦. 行政、他団体等とのつながり

- ・行政等との日常的なコミュニケーションを強め、共催事業の具体化や、委員会などの場で役割を發揮します。
- ・水環境フォーラムを（公社）日本水環境学会 中国・四国支部岡山地域分科会、岡山理科大学 環境教育地域支援研究会と共催で開催します。

## 2. 啓発事業

### ①. 市民のための環境講座

- ・環境問題を正しく理解し、意識啓発や行動を促し、社会全体の持続可能性を形づくる基本概念を学ぶことを目的に開講します。
- ・重要と思われる課題や、これからの社会はどうかあるべきかを考える機会として、市民により良い情報を発信できるよう、多数の参加をめざします。

### ②. 体験プログラム

- ・体験を通して得られる実感や理解をもとに、人間と環境との関わりや、豊かな環境とその恵みを大切に思う心をはぐくみ、命の大切さを学び、自然環境や普段のくらしを自ら考えるきっかけをつくることを目的に開催します。
- ・多数の参加をめざし、行政や他団体との連携、協働をすすめます。
- ・「みまさか環境フェスティバル（北房）」を岡山県美作県民局と共催で、また、「旭川かいほり調査 2016」を地元団体等と共催で開催します。

## 3. 法人管理・会計等

### ①. 公益財団法人の組織運営

- 新制度に沿った組織運営をすすめます。また、事業のあり方について、運営委員会を中心に検討をはじめます。

### ②. 予算

- 予算は収支均衡とします。